

速報! サプライズ銘柄

## サプライズ① 編集部も驚いた「秋号」の強気予想5銘柄

会社計画に比べて5割増額の銘柄も

会社四季報オンライン編集部 2024/08/24 17:00



本日から配信が始まった『会社四季報』2024年4集(秋号)の先取り企画。その第1弾が「速報! サプライズ銘柄」だ。9月13日(金)発売の最新号に掲載されている3900社超の中から、とくに有望な50銘柄を抽出し、5銘柄ずつ毎日17時頃に有料会員向けに配信する、「会社四季報オンライン」の恒例企画である。

『会社四季報』の大きな魅力の1つが、四季報記者による独自予想。当該企業や周辺企業への取材に基づいて、四季報記者が「会社予想は保守的だ」と判断すれば、独自に予想を増額する。その予想数値がサプライズであれば、株価が急騰するケースもある。これが「四季報相場」と呼ばれる現象だ。

2024年秋号の第1回は、四季報の独自予想が会社計画に対して大幅に強気な5銘柄を選抜した。日本株相場は8月上旬の急落から出直し基調をたどっているものの、足元ではやや上値が重くなりつつある。そうした中で四季報のサプライズ予想が飛び出せば、「四季報相場」のインパクトも通常より大きなものになる可能性がある。今回取り上げた5銘柄をご注目いただきたい。



『会社四季報』2024年4集(秋号)は9月13日発売。書影をクリックするとAmazonのサイトにジャンプします

## B-R サーティワン アイスクリーム (2268)

【特色】アイス「サーティワン」FC展開、業界首位。不二家と米バスキン・ロビンスの合併。台湾等進出

【独自増額】国内純増20店(前期3)。アニメとのコラボ商品投入や店舗改装効果が上期想定超の勢い。下期も既存店着実。持ち帰り需要増勢。前号比で営業益上振れ。25年12月期もコラボ販促継続で既存店順調。

【テイクアウト】上期の売上は前年同期比12%増、専用商品も順次拡充。持ち帰り専門店は今期末30店目標(6月末20店)。既存店改装は今期180店超(前期204店)。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連23.12	24,760	1,828	1,860	1,201	124.7	40
連24.12予	28,000	2,700	2,730	1,750	181.6	40
連25.12予	30,000	3,000	3,030	1,950	202.4	40~50
中24.06	14,198	1,521	1,538	982	101.9	20
中25.06予	14,800	1,500	1,520	980	101.7	20~25
会24.12予	26,500	1,930	1,960	1,240		(24.02.09発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 綜研化学 (4972)

【特色】アクリル樹脂原料の粘着剤を製販。液晶パネル、自動車、テープなど多用途。中国、タイに拠点

【独自増額】大型偏光板用粘着剤は、前期と今期稼働の増設分で空前の五輪特需こなし前半に貯金。原料、光熱費上昇分の価格転嫁も通期で寄与。人件費、償却費増えても営業益独自増額。為替益見込まず。増配期待。

【照準】加工製品は中国EVメーカーに照準定め、新規採用注力。未開拓のインドで市場調査開始。南京の粘着剤増設分3基めは、顧客の評価を経て今秋量産開始。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	41,318	3,828	3,909	2,629	317.7	95
連25.03予	47,000	5,790	5,590	3,680	443.9	95~110
連26.03予	50,000	5,000	4,800	3,360	405.3	110~120
中23.09	19,254	1,670	1,777	1,374	166.2	0
中24.09予	25,000	3,850	3,900	3,000	361.9	0
会25.03予	46,000	4,300	4,100	2,700		(24.05.15発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## yutori (5892)

【特色】EC軸に若者向けアパレルブランド約20展開。ブランド開発、M&Aで成長。ZOZO傘下

【上振れ】買収会社半期分貢献。純増8店程度(前期同15)。既存店は客数伸長し客単価も上昇。仕入先集約で仕入高上昇を抑制、粗利率前期並み。人件費増とのれんを増収効果で吸収し前号より営業増益幅拡大。

【子会社】タレント小嶋陽菜氏が代表務めるライフスタイルブランド運営会社株51%取得。女性向けの美容と下着分野拡大。7月に社員と契約社員対象に平均4%賃上げ。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
単24.03	4,320	383	378	225	49.9	0
単25.03予	7,300	650	700	380	80.9	0
単26.03予	9,100	800	850	430	91.5	0
中23.09	1,751	113	106	53	35.9	0
中24.09予	2,200	140	140	80	17.0	0
会25.03予	5,615	500	492	274		(24.05.14発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## ツガミ (6101)

【特色】小型自動旋盤の首位。スマホや自動車向け強い。中国売上が過半で現地子会社は香港市場に上場

【上振れ】柱の小型自動旋盤が中国市場でシェア拡大。現地政府の補助金施策もあり、自動車やIT向け数量上振れ。稼働率高まり採算性良化。国内は出荷軟調だが売価改善の効果発現。営業益大幅増額。増配か。

【布石】成長期待のインド子会社は営業やメンテナンスの人員を順次増強。将来的に現地株式市場への上場を目指す。中国では設計や生産の合理化積み重ね粗利率上昇。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
◇24.03	83,928	13,095	13,795	5,376	112.6	48

◇25.03予	100,000	20,000	20,000	8,500	177.8	48~54
◇26.03予	110,000	22,000	22,000	9,500	198.7	50~60
中23.09	40,294	5,941	6,458	2,191	45.7	24
中24.09予	50,000	10,000	10,000	4,300	89.9	24~27
会25.03予	90,000	15,000	..	6,500		(24.05.14発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 大真空 (6962)

【特色】水晶デバイス総合大手。音叉型や民生用振動子などシェア首位級。人工水晶から一貫生産に強み

【上向く】水晶製品はFAロボット向けが在庫調整続くも、PC向けの回復が想定以上。車載や中国スマホ向けも堅調で稼働率向上。償却費増こなし、一転営業増益。営業外の為替差益は見込まず。有証売却特益。

【欧米開拓】欧米顧客向け比率4割(現3割)目指しAIサーバー用などの開発強化、営業人員も拡充。無線通信向けなど好採算新製品の売り込み開始、25年度から寄与。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	39,343	2,135	3,192	1,876	58.1	28
連25.03予	41,000	2,300	2,000	1,400	43.4	28
連26.03予	43,000	2,900	2,600	1,600	49.6	28
中23.09	19,332	901	1,977	1,391	43.1	14
中24.09予	20,500	1,100	900	600	18.6	14
会25.03予	40,000	1,500	1,000	500		(24.05.13発表)

(『四季報』夏号と比較する)

- 予想数値や記事本文は当記事作成段階のものであり、後発事象などにより9月13日発売の『会社四季報』秋号(2024年4集)と異なる場合があります
- 本欄の業績予想で使われている1株益は、原則として直近本決算もしくは第1~第3四半期決算時点における発行済み株式数から自己株式数を控除した数で計算しています。季刊『会社四季報』に掲載される値と同じであり、「会社四季報オンライン」に掲載される1株益とは異なる場合があります
- 当記事公開時点の各銘柄のリンク先は、『会社四季報』夏号(2024年3集)の掲載内容です

速報! サプライズ銘柄

## サプライズ② 鉄板のインバウンド関連「秋号」強気5銘柄

2025大阪・関西万博の「穴銘柄」も

会社四季報オンライン編集部 2024/08/25 17:00



8月24日から配信が始まった『会社四季報』2024年4集(秋号)の先取り企画。その第1弾が「速報! サプライズ銘柄」だ。9月13日(金)発売の最新号に掲載されている3900社超の中から、とくに有望な50銘柄を抽出。5銘柄ずつ、毎日17時頃に10日間連続で有料会員向けに配信する「会社四季報オンライン」の恒例企画である。

第2回はインバウンド関連の銘柄を集めてみた。日本政府観光局によると、7月の訪日外国人旅行者数は推定で329万2500人となり、単月としては過去最高。上半期(1~6月)のペースが下半期も続けば「2024年通年の旅行者数は3500万人、消費額は8兆円も視野に入る」(国土交通省)という。

8月は為替相場が円高に振れたが、今後もよほどのことがない限り、中長期の旅行者・消費の上昇トレンドは不変。その意味で、今回紹介する5銘柄は、秋号の独自増額銘柄の中でも要注目といえよう。

今回は鉄道やホテル関連に加えて、「2025 大阪・関西万博の穴銘柄」と言ってもよい銘柄も選定した。今秋だけでなく、これから長く実りを実感できそうだ。



『会社四季報』2024年4集(秋号)は9月13日発売。書影をクリックするとAmazonのサイトにジャンプします

## 相鉄ホールディングス (9003)

【特色】神奈川県盤の鉄道大手。沿線各所で不動産開発を活発化。「フレッサイン」ブランドでホテル展開

【上振れ】ホテルは訪日客需要が想定上回り、客室単価と稼働率上昇続く。6月開業の新店も貢献。不動産は7月開業の大型商業施設など賃貸が好調。鉄道も新横浜線利用の伸び続く。前号比で営業増益幅拡大。

【ゆめが丘】駅前に7月、大規模商業施設「ゆめが丘ソラトス」開業。初年度売上200億円目指す。JR直通線の通勤定期でも横浜駅で乗降できるサービスを開始。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	270,039	28,965	26,995	16,080	164.1	50
連25.03予	292,000	35,000	32,000	21,100	215.4	50
連26.03予	305,000	36,500	33,500	22,500	229.7	50
中23.09	124,350	13,081	12,586	8,947	91.3	20
中24.09予	149,000	20,000	18,600	12,800	130.6	25
会25.03予	290,700	31,800	28,800	19,100		(24.04.26発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 共立メンテナンス (9616)

【特色】寮事業とホテル事業の2本柱。ビジネスホテル「ドーマーイン」とリゾートホテルを全国展開

【増 額】主力のホテルは訪日客や国内客が増え、ドーマーインの客室単価想定を超える上昇、稼働率順調。リゾート伸びる。寮は値上げが寄与。修繕費増こなし前号より営業増益幅拡大。減損特損減る。連続増配。

【出店戦略】寮は地方国立大学周辺への出店進める。関西や東京など都市圏では女性用の社員寮需要強く、物件仕入れ強化。国内外観光客に人気の「野乃」出店増やす。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	204,126	16,708	21,116	12,414	159.1	49
連25.03予	228,000	19,800	20,800	13,700	175.5	32~36
連26.03予	250,000	20,500	21,500	14,100	180.6	32~38
中23.09	98,662	8,396	8,212	4,704	120.6	16
中24.09予	109,500	10,400	10,900	7,100	90.9	16
会25.03予	226,000	18,500	19,000	12,500		(24.05.15発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 東京會館 (9701)

【特色】宴会場、結婚式場、レストランの名門。婚礼と法人宴会に強み。丸の内の本館が19年に再開業

【独自増額】柱の本館は企業主催の大型宴会が件数、単価とも想定を超える。婚礼は参加人数増で単価上昇、件数も増加。レストラン好調維持。支店も順調。人件費増こなし、前号より営業増益幅拡大。税効果ない。

【利益重視】宴会は予約管理を強化し、好採算の大規模宴会獲得に注力。レストランは値上げ行い、一部支店でサービス料引き上げ。待遇改善を続け、人材獲得進める。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
単24.03	14,883	1,047	986	1,535	459.7	30
単25.03予	15,300	1,300	1,250	940	281.4	30
単26.03予	15,700	1,400	1,320	990	296.4	30
中23.09	6,904	272	238	210	63.2	0
中24.09予	7,150	380	370	250	74.8	0
会25.03予	14,920	1,160	1,080	810		(24.05.10発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 日本空港ビルデング (9706)

【特色】羽田空港国内・国際ターミナルビルの家主。家賃、施設利用収入と、羽田、成田の免税店運営が柱

【独自増額】中国人訪日客増で物販が想定を超える好調。空港施設利用料は国際線増で伸びる。家賃収入堅調増。人件費増などこなし前号から営業益増額。下期据え置きของบริษัท計画は保守的。記念配落とすが増配も。

【訪日客対応】中国のSNSアプリを利用した免税商品の予約・店舗受取サービスを開始。受取用のロッカーも設置。成田空港に仏・高級ジュエリーの免税店を出店。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	217,578	29,527	27,225	19,255	206.8	67記

連25.03予	277,200	40,000	38,000	23,000	247.0	62~75
連26.03予	285,000	41,000	39,000	23,700	254.5	62~77
中23.09	100,148	13,508	12,481	8,234	88.4	25
中24.09予	136,000	22,000	21,500	12,400	133.1	31~36
会25.03予	264,500	33,400	31,000	18,900		(24.08.07発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 丹青社 (9743)

【特色】空間ディスプレイ企画、設計大手。再開発ビル、商業施設、文化施設が柱。ホテルやオフィス育成

【独自増額】柱の商業施設やホテル向けが都市再開発に伴い想定以上に復調。オフィス案件も成長。建設業残業規制受け施工増員負担かさむが、設計からの参画率向上進み営業増益幅拡大。配当性向50%以上メド。

【大阪万博】受注は160億円程度へ目標を60億円増額。XRサービスのワントゥーテンへ資本参加。国交省によるPPP協定パートナー選定で地方自治体・企業深耕も。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.01	81,200	3,883	3,995	2,771	58.1	30
連25.01予	85,000	4,400	4,500	3,000	63.9	30~32
連26.01予	86,000	4,600	4,700	3,150	67.1	30~34
中23.07	38,871	1,357	1,402	926	19.4	15
中24.07予	42,000	2,000	2,050	1,370	29.2	15
会25.01予	83,000	4,000	4,100	2,800		(24.03.15発表)

(『四季報』夏号と比較する)

### 【その他の「秋号」サプライズ銘柄】

#### ● サプライズ① 編集部も驚いた「秋号」の強気予想5銘柄

- 予想数値や記事本文は当記事作成段階のものであり、後発事象などにより9月13日発売の『会社四季報』秋号(2024年4集)と異なる場合があります
- 本欄の業績予想で使われている1株益は、原則として直近本決算もしくは第1~第3四半期決算時点における発行済み株式数から自己株式数を控除した数で計算しています。季刊『会社四季報』に掲載される値と同じであり、「会社四季報オンライン」に掲載される1株益とは異なる場合があります
- 当事務公開時点の各銘柄のリンク先は、『会社四季報』夏号(2024年3集)の掲載内容です

速報! サプライズ銘柄

## サプライズ③ 人気集中、高配当利回りの「秋号」強気5銘柄

すべての銘柄が利回り4.5%以上!

会社四季報オンライン編集部 2024/08/26 17:00



8月24日から配信が始まった「速報! サプライズ銘柄」も3回目。9月13日(金)発売の『会社四季報』2024年秋号に掲載されている3926銘柄の中から、とくに有望な50銘柄をピックアップして、5銘柄ずつ配信する恒例企画である。

今回は、個人投資家を中心に高い人気が続いている「高配当利回り」銘柄に注目してみた。高利回りなうえに、四季報記者の予想では業績が上振れする可能性があるかと判断した5銘柄である。

どの銘柄も4%を大きく超える配当利回りが魅力だ。新NISA(少額投資非課税制度)では、売却益だけではなく配当金にも税金がかからないことから、高配当株への注目度が一段と増している。

業績が増額されれば、株価上昇に加えてさらなる増配も期待できそう。なお、逆に業績が減額されたり赤字になったりして、減配や無配となるリスクには留意しておこう。



『会社四季報』2024年4集(秋号)は9月13日発売。書影をクリックするとAmazonのサイトにジャンプします

## ムゲンエステート (3299)

【特色】首都圏1都3県地盤、中古不動産の買い取り・再販を展開。居住用マンション、投資用不動産が柱

【増 額】買い取り再販で投資用が採算よい大型物件中心に伸長し牽引。前半でかなり想定超の利益率発現。後半も堅調で、鈍調な居住用を補い利益増額。増配拡大。25年12月期は再販拡大。採算一服でも利益高原。

【参 入】25年1月にアセットマネジメント会社を設立。私募ファンド組成へ。子会社の工事部門吸収し全国展開に向けて体制強化。情報システム部、大阪支店を設置。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連23.12	51,640	5,936	5,243	3,653	155.3	63
連24.12予	61,000	8,400	7,600	5,000	214.9	85
連25.12予	70,000	8,100	7,300	4,800	206.3	82
中24.06	31,502	5,029	4,645	3,064	129.9	0
中25.06予	35,000	4,050	3,650	2,400	103.1	0
会24.12予	60,896	6,861	6,036	3,985		(24.02.14発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 石原産業 (4028)

【特色】顔料など酸化チタン大手。MLCC向けチタン酸バリウムなど機能材料が柱。農薬は新興国開拓

【上振れ】酸化チタンは機能材回復緩慢。ただ汎用品がアジアで値引き効き手持ち在庫出足に一掃。農薬も欧州で殺菌剤が想定より好調で米州除草剤の不調補う。会社減益計画を一転、連続増益に。減損特損消滅。

【向 上】酸化チタン数量の4割占める硫酸法の停止で機能材へと活用しやすい塩酸法的能力増大、採算向上目指す。兵庫県小野市で農薬生産技術の研究センター着工。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	138,456	11,491	14,850	7,988	209.3	70
連25.03予	148,000	12,500	12,000	8,000	209.1	70~80
連26.03予	150,000	15,000	14,000	9,000	235.2	90~94
中23.09	67,529	2,280	5,528	3,748	98.2	0
中24.09予	75,000	3,000	3,500	1,500	39.2	0
会25.03予	144,000	10,000	9,000	6,000		(24.05.10発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 日本カーバイド工業 (4064)

【特色】各種の機能樹脂やセラミック基板等展開。ステッカー、再帰反射シートも。子会社でアルミ建材

【上振れ】建材は原材料費上昇で採算悪化。が、エンジに大型案件。電子・機能製品は半導体関連回復。ステッカーや再帰反射シートが上振れ。販売費等抑制も効き増益幅拡大。為替差益見込まず。賠償金特益ない。

【戦略化】超高層ビル向け高強度高機能手すりで高評価、拡販へ。製鉄プラントのスチールプランテック社と電気炉設備導入で協業、粉体吹き込み技術など付帯設備供給。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	43,231	849	1,573	999	106.4	80特
連25.03予	52,000	2,400	2,500	1,140	122.4	80
連26.03予	54,000	2,500	2,600	1,180	126.7	80~85
中23.09	21,333	480	1,027	787	83.7	30
中24.09予	23,000	1,100	1,200	700	75.2	40
会25.03予	50,000	2,100	2,200	1,000		(24.05.13発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## アイホン (6718)

【特色】インターホン業界トップ。住宅向け中心にナースコールなど医療・介護向けも。欧米展開を加速

【独自増額】内外とも部品供給正常化。北米、欧州は低調も、国内は集合住宅向けリニューアルが健闘。得意の賃貸向けが牽引し人件費増こなす。営業益横ばいに上振れ。配当性向35%基準超過し130円配意向。

【連 携】宅配便の伝票番号などでオートロックを開錠する独自システムでヤマト運輸に続きアマゾンキーと連携。置き配が容易になり集合住宅向け商品の差別化に。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	61,334	5,268	6,130	4,645	284.0	130



連25.03予	64,000	5,300	5,800	4,000	244.4	130
連26.03予	65,000	5,500	6,000	4,200	256.6	130
中23.09	30,151	3,020	3,504	2,639	161.4	50
中24.09予	32,000	3,000	3,100	2,000	122.2	50
会25.03予	62,300	4,500	5,000	3,600		(24.05.08発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 尾家産業 (7481)

【特色】業務用食品の卸大手。全国の拠点網、提案力に強み。PB商品比率高い。ヘルスケアフード拡大

【上振れ】メニュー提案会テコにヘルスケア食品増勢。訪日客増追い風に主力の外食向け伸長、宿泊施設向けも取引先増え好伸。PB品拡充や価格改定効く。営業益上振れ。税平常化。株売却特益。配当上積みも。

【新顧客】ヘルスケア食品のメニュー提案会は東京、名古屋等5会場で開催。病院や高齢者施設約100社の新規開拓に成果。高崎営業所を移転拡張、北関東市場を深耕。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	111,375	3,243	3,265	3,055	344.4	90特
連25.03予	119,200	3,600	3,700	2,800	337.8	90~93
連26.03予	127,500	3,850	3,950	2,730	329.4	93~98
中23.09	54,549	1,728	1,752	1,171	129.5	30
中24.09予	58,500	1,600	1,640	1,400	168.9	45
会25.03予	118,700	3,420	3,510	2,430		(24.05.10発表)

(『四季報』夏号と比較する)

### 【その他の「秋号」サプライズ銘柄】

- [サプライズ① 編集部も驚いた「秋号」の強気予想5銘柄](#)
- [サプライズ② 鉄板のインバウンド関連「秋号」強気5銘柄](#)
- [サプライズ④ PBR1倍割れの「超割安」秋号独自増額5銘柄](#)

- 予想数値や記事本文は当該記事作成段階のものであり、後発事象などにより9月13日発売の『会社四季報』秋号(2024年4集)と異なる場合があります
- 本欄の業績予想で使われている1株益は、原則として直近本決算もしくは第1～第3四半期決算時点における発行済み株式数から自己株式数を控除した数で計算しています。季刊『会社四季報』に掲載される値と同じであり、「会社四季報オンライン」に掲載される1株益とは異なる場合があります
- 当該記事公開時点の各銘柄のリンク先は、『会社四季報』夏号(2024年3集)の掲載内容です

速報! サプライズ銘柄

## サプライズ④ PBR1倍割れの「超割安」秋号独自増額5銘柄

最高益更新なのに0.5倍割れの銘柄も

会社四季報オンライン編集部 2024/08/27 17:00



8月24日から配信が始まった「速報! サプライズ銘柄」も4回目を迎えた。今回は、東京証券取引所が上場企業に要請をして以降、株式市場で高い関心が寄せられている低PBR (株価純資産倍率) 銘柄を取り上げてみた。

PBRの計算式は「株価÷1株当たり純資産」。つまり、東証が上場企業に対して要請している「PBR改善」のためには、計算式の分子に当たる「株価」を上昇させる必要がある。そして、その方法としては、配当金の増額や自己株買い、企業業績の向上などが考えられる。

今回取り上げた5銘柄は、実際の業績は好調なのに、会社側の業績予想が慎重であるあまり、株価が割安水準に放置されている銘柄ばかり。『会社四季報』2024年秋号が発売になれば、好調な実態が明らかとなり、市場の関心を大いに集める可能性がある。今回取り上げた5銘柄は要注目だ。



『会社四季報』2024年4集(秋号)は9月13日発売。書影をクリックするとAmazonのサイトにジャンプします

## 中電工 (1941)

【特色】中国電力系の電気工事会社で依存度約3割。総資産の約4割を投資有価証券で運用、社債多い

【独自増額】案件大型化進む。倉庫・工場軸に屋内電気工事の出足4割増、空調管5割増、高速道路も倍増の勢い。DX、ユニット工法の効率化大きい。営業外の台湾風力の関連損失なくなる。会社計画控えめ。増配。

【空 白】資金潤沢だが20年の昭和コーポ以降M&A途絶。現場繁忙で戦略投資後回し。奨学金返還支援開始、今年も新卒採用170人計画。新中計で株主還元の新方針も。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	201,025	11,947	12,742	7,937	145.4	104
連25.03予	212,000	15,000	16,800	10,000	184.4	120
連26.03予	215,000	16,000	18,000	11,000	202.8	120~140
中23.09	82,699	1,479	1,451	577	10.5	52
中24.09予	85,000	5,000	6,000	3,000	55.3	60
会25.03予	210,000	12,500	14,300	8,800		(24.04.26発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## ラサ工業 (4022)

【特色】1907年の沖縄ラサ島リン鉱脈発見が起点。半導体向けなどリン酸が主力。工業薬・機械併営

【増額】案件減で破碎関連機械後退。が、主力の高純度リン酸は半導体向けに数量増のうえ、原料価格が想定以下。電材も酸化ホウ素の新顧客増え、部門減益幅縮小。営業益増額。配当性向30%以上で増配幅拡大。

【投資】向こう3年で高純度リン酸増産対応、リン酸リサイクル、コンデンサー原料増強に65億円。更新投資等30億円、還元25億円との合計120億円は営業CFで賄う。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	42,788	3,591	3,396	2,382	301.5	91
連25.03予	45,300	4,100	4,000	2,750	348.9	104
連26.03予	48,000	4,400	4,300	2,950	374.2	112
中23.09	20,640	1,376	1,353	991	125.3	41
中24.09予	22,000	1,950	1,850	1,250	158.6	48
会25.03予	44,500	3,700	3,600	2,500		(24.05.15発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 竹本容器 (4248)

【特色】化粧品・食品向け主力のプラスチック製包装容器専業。自社開発の金型多数保有し短納期に強み

【独自増額】柱の化粧品向け容器の国内需要旺盛。新製品やリピート受注増え想定超。再生樹脂等使用の環境対応品も順調増。中国も回復基調。売価は正効き営業益上振れ。25年12月期は容器の国内伸長し黒字定着。

【インド】市場活況のインドは金型増による製品拡充で新規顧客広がる。受注増の対応で印刷など外注企業活用も検討。中国は食品容器中心に日系進出企業へ拡販狙う。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連23.12	14,317	522	607	294	24.4	36
連24.12予	15,600	1,000	1,000	610	50.6	36~38
連25.12予	16,800	1,300	1,300	800	66.4	36~40
中24.06	7,792	502	495	300	25.0	18
中25.06予	8,400	650	650	390	32.4	18
会24.12予	15,250	820	820	500		(24.01.31発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## ハリマ化成グループ (4410)

【特色】ロジン原料化学品草分け。製紙薬品・トル油高シェア。米国子会社にロジン製品のローター社

【上振れ】樹脂加工製品落ち込むが、欧州で粘接着剤用樹脂の在庫調整終了に加え、人件費等削減効果で部門収益黒字化。半導体向け、自動車向け電材、中国の紙力増強剤が想定超。営業益上振れ。税負担平常化。

【製紙用薬品】国内頭打ちで東南アジアの需要開拓、数量増なら余裕ある中国・東莞工場からの輸出検討。21年度の自然由来製品売上高631億円を26年度に3割増へ。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	92,330	-211	-275	-1,161	-48.0	42

連25.03予	102,500	2,500	2,500	1,700	70.1	42
連26.03予	107,000	3,000	3,000	2,000	82.4	42
中23.09	45,272	-607	-304	-406	-16.8	21
中24.09予	49,500	1,000	1,000	700	28.8	21
会25.03予	102,000	2,100	2,100	1,450		(24.04.30発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 中央魚類 (8030)

【特色】水産荷受け大手。市場内取引多く、豊洲の取扱金額トップクラス。ニッスイなどが大手荷主

【独自増額】柱の水産卸は量販店・業務筋向け販売数量が想定超。カニやエビなど期初の利益率改善顕著。年末商戦も着実。冷蔵倉庫や不動産賃貸が下支え。前号比で営業増益幅拡大。株売却特益減る。増配続く。

【商品開発】販売好調な量販店向け総菜は家族向けに加え、単身世帯向け意識した商品開発に力点。幅広いニーズに対応。水産物需要高まる海外向け販路拡大にも注力。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	137,588	2,465	2,576	2,134	534.4	80
連25.03予	143,000	3,000	3,300	2,350	588.3	90
連26.03予	144,000	3,050	3,350	2,380	595.8	90~100
中23.09	64,313	1,191	1,324	1,161	290.7	0
中24.09予	69,000	1,700	1,900	1,350	338.0	0
会25.03予	136,700	2,500	2,800	2,000		(24.05.14発表)

(『四季報』夏号と比較する)

### 【その他の「秋号」サプライズ銘柄】

- [サプライズ① 会社予想を上回る「秋号」強気予想5銘柄](#)
- [サプライズ② 鉄板のインバウンド関連「秋号」強気5銘柄](#)
- [サプライズ③ 人気集中、高配当利回りの「秋号」強気5銘柄](#)

- 予想数値や記事本文は当該記事作成段階のものであり、後発事象などにより9月13日発売の『会社四季報』秋号(2024年4集)と異なる場合があります
- 本欄の業績予想で使われている1株益は、原則として直近本決算もしくは第1～第3四半期決算時点における発行済み株式数から自己株式数を控除した数で計算しています。季刊『会社四季報』に掲載される値と同じであり、「会社四季報オンライン」に掲載される1株益とは異なる場合があります
- 当該記事公開時点の各銘柄のリンク先は、『会社四季報』夏号(2024年3集)の掲載内容です

速報!サプライズ銘柄

## サプライズ⑤ 設備需要追い風、独自増額の電力関連5銘柄

データセンター新設で材料視

会社四季報オンライン編集部 2024/08/28 17:00



8月24日から配信が始まった「速報! サプライズ銘柄」も今回で折り返しを迎えた。本企画は、9月13日(金)発売の『会社四季報』2024年4集(秋号)に掲載されている3900社超の中から、とくに有望な50銘柄を抽出し、5銘柄ずつ毎日17時頃に有料会員向けに配信している。

第5回は、四季報の独自予想が会社計画に対して強気な電力関連銘柄を取り上げる。国内の電力需要は、データセンターや半導体関連工場などの新設に伴って増加するとの見方が強まっている。国内の送配電インフラは老朽化も進んでいるため、更新需要も見込めそうだ。

今回取り上げた5銘柄は、今期はもちろん、来期も高水準の業績が見込まれる企業ばかり。確かな需要に裏打ちされており、買い安心感という面でも心強い投資先候補となりそうだ。



『会社四季報』2024年4集(秋号)は9月13日発売。書影をクリックするとAmazonのサイトにジャンプします

## 巴コーポレーション (1921)

【特色】体育館など大空間構造建築の先駆。文教関係強い。電力鉄塔にも実績。不動産賃貸が安定収益源

【上振れ】不動産賃貸は堅実推移。鉄構建設は採算重視で受注選別でも前期(289億円)は超える公算。賃上げ、資材高重いが、前号より営業益上振れ、一転増益に。持分会社の連結化に伴う段階取得差益、のれん益で純益膨らむ。グループ再編記念配。

【外注減】鉄構部材さび止め塗装処理加工で内製化投資。連結化の巴技研は免震・耐震、鉄構耐性など技術面で相乗化狙う。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	33,342	3,178	3,817	2,782	69.3	16
連25.03予	32,000	3,300	3,900	13,700	338.3	24記
連26.03予	33,600	3,500	4,100	3,000	74.1	16~24
中23.09	16,598	1,342	1,816	1,377	34.5	0
中24.09予	16,000	1,650	1,950	12,100	298.8	0
会25.03予	32,000	3,000	3,600	13,500		(24.05.14発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 四電工 (1939)

【特色】四国電力系で売上比率5割未満。電気、空調工事主力。四国外の市場開拓やメガソーラー事業も

【増額】6月末受注残568億円(10%増)と過去最高水準。高速道路が反動減でも、大学・物流など民間工事活発。資機材の安定調達、小まめな工程管理効く。賃上げと退職給付費用減ほぼ相殺。一転、営業増益。

【株式分割】9月末基準で1株を3株に分割、期末25円配で年間でも増配。eラーニング含め教育体系見直す。初のオフサイトPPAが年内運開へ。能登復旧へ応援派遣。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	92,112	6,444	7,012	4,571	290.1	140
連25.03予	100,000	6,600	7,200	4,600	97.3	100
連26.03予	105,000	6,600	7,200	4,600	97.3	50
中23.09	41,024	3,005	3,238	2,138	135.8	60
中24.09予	44,000	3,200	3,400	2,200	139.6	75
会25.03予	100,000	6,000	6,500	4,000		(24.04.26発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 九電工 (1959)

【特色】九州本拠に首都圏にも展開。九州電力系だが九電向けの依存度は1割強、東南アジアにも展開

【上振れ】大型案件進捗が想定超。好採算の中小型工事も拡大し、第1四半期口ケット発進。賃上げ軽くこなす。宇久島含め太陽光工事が足を引っ張るが、半導体工場・再開発になお勢い。最高純益で更新幅上振れ。

【宇久島】架台工事始まるが海底ケーブル交渉が未決着。25年春に本社移転、跡地は隣接地と一体再開発へ。太陽光のポストFIT戦略探る。新中計で株主還元の新提案も。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	469,057	38,016	42,362	28,017	395.9	120
連25.03予	500,000	42,000	45,500	30,500	431.2	130
連26.03予	515,000	43,000	46,500	31,000	438.3	130~140
中23.09	200,617	13,692	15,766	10,160	143.5	55
中24.09予	215,000	16,000	17,500	11,500	162.6	65
会25.03予	500,000	39,500	43,000	29,000		(24.04.26発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 愛知電機 (6623)

【特色】中部電力系の変圧器メーカー。柱上変圧器に強み。モーターが収益柱に成長。プリント基板育成

【一転増益】電力機器軟化。が、パッケージ基板用コア上期膨張で想定超。中国向けエアコン用モーター下期復調。償却増等こなし前号から一転、営業増益。為替益見ない。政策保有株売却なら表記純益上振れも。

【IR強化】広報・IR担当部署が兼務含め4人体制で始動。個人投資家向け情報発信を拡充。新発田工場は90億円追加投資でコア増産設備構築。25年7月稼働目指す。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	110,595	7,059	8,312	5,937	625.5	160
連25.03予	121,000	8,000	8,000	5,500	585.5	160
連26.03予	130,000	8,200	8,200	5,700	606.7	160~180

中23.09	53,788	3,258	4,347	3,015	317.8	80
中24.09予	58,000	3,800	4,500	3,200	340.6	80
会25.03予	120,000	7,000	7,000	4,800		(24.04.30発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 戸上電機製作所 (6943)

【特色】高圧負荷開閉器主力の配電制御システム機器メーカー。電力向け約4割、中国にも生産現法

【記念配】自動車向け樹脂成形品は回復鈍いが、電力向け自動開閉器、電磁開閉器の更新需要が想定超。配電盤も部材調達難緩和で好伸。人件費増、原料高騰を価格改定で吸収。営業益増額。100周年記念配。

【100周年】25年3月に創業100周年、有形文化財の本社等でイベント開催し知名度向上へ。基幹システムを子会社開発製品に切替え、経費削減進展。外販も視野。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	26,731	2,694	3,029	2,090	421.9	110
連25.03予	27,500	2,700	3,000	2,100	426.6	120記
連26.03予	28,000	2,750	3,050	2,130	442.5	110
中23.09	12,704	840	1,068	706	142.6	40
中24.09予	12,900	1,100	1,250	880	178.8	50
会25.03予	26,800	2,500	2,700	1,850		(24.05.10発表)

(『四季報』夏号と比較する)

### 【その他の「秋号」サプライズ銘柄】

- [サプライズ① 編集部も驚いた「秋号」の強気予想5銘柄](#)
- [サプライズ② 鉄板のインバウンド関連「秋号」強気5銘柄](#)
- [サプライズ③ 人気集中、高配当利回りの「秋号」強気5銘柄](#)

■ 予想数値や記事本文は当該記事作成段階のものであり、後発事象などにより9月13日発売の『会社四季報』秋号(2024年4集)と異なる場合があります

■ 本欄の業績予想で使われている1株益は、原則として直近本決算もしくは第1～第3四半期決算時点における発行済み株式数から自己株式数を控除した数で計算しています。季刊『会社四季報』に掲載される値と同じであり、「会社四季報オンライン」に掲載される1株益とは異なる場合があります

■ 当該記事公開時点の各銘柄のリンク先は、『会社四季報』夏号(2024年3集)の掲載内容です

速報! サプライズ銘柄

## サプライズ⑥ 4期以上連続増配予想の「秋号」独自増額5選

配当積み増しは経営陣の自信の表れ

会社四季報オンライン編集部 2024/08/29 17:00



8月24日から配信が始まった「速報! サプライズ銘柄」もいよいよ後半戦に入った。第6回は『会社四季報』2024年4集(秋号)で四季報独自増額予想かつ、長期投資におすすめの「連続増配銘柄」に着目した。

PBR(株価純資産倍率)1倍割れ対策もあり、増配や自己株買いといった株主還元策が盛んだ。ただ、記念配などで1期限りの大盤振る舞いをして、翌期には配当額では減配となってしまう。高配当利回り銘柄にありがちなパターンだ。

その点、每期配当額を積み増している銘柄は安定感がある。仮に減益決算となっても、増配記録を途絶えさせたくないという企業側の意識も働きやすい。何より、増配を続けられるということは長期的な成長に対する経営陣の自信も表れでもある。このように、複合的な観点から要注目の5銘柄といえそうだ。



『会社四季報』2024年4集(秋号)は9月13日発売。書影をクリックするとAmazonのサイトにジャンプします

## 手間いらず (2477)

【特色】宿泊施設向け予約管理システム開発・販売が主力。システム会社やサイト運営会社と連携積極的

【増益続く】訪日客増で宿泊施設の稼働率向上。アクセス数に連動の変動収入が好伸。新規契約施設も増え、固定収入の回復強まる。人員増やシステム開発投資負担吸収。会社計画利益はやや保守的。連続増配。

【自動化】宿泊施設の人手不足対策ニーズ踏まえ、料金調整や最安料金確認業務等の自動化サービス開始。訪日客多いアジア地域の旅行予約サイトとの連携更に模索。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
単24.06	2,023	1,476	1,479	976	150.7	34
単25.06予	2,300	1,650	1,650	1,100	169.8	38
単26.06予	2,800	1,900	1,900	1,250	192.9	43
中23.12	978	720	720	473	73.1	14
中24.12予	1,300	900	900	600	92.6	15
会25.06予	2,227	1,499	1,500	996		(24.07.31発表)



(『四季報』夏号と比較する)

## 三洋貿易 (3176)

【特色】ゴム・化学品商社。営業員の4割が技術系でメーカー機能も有す。自動車向け主軸。海外強化中

【最高益】米国、タイの自動車部品関連が好調。ゴム輸入品や化学品の価格転嫁も想定超に進み、営業増益幅拡大。25年9月期は海外自動車関連が牽引、メキシコのゴム関連も伸長。秋田バイオマス案件の貢献大。

【新規事業】北海道上川郡下川町で地元運輸会社等とペレット工場併設のバイオマス発電合併事業を実施。化粧品・塗料メーカーを顧客に各種分析受託サービス始める。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連23.09	122,596	6,740	7,149	4,830	168.0	43
連24.09予	130,000	7,300	8,000	5,200	180.6	45~47
連25.09予	135,000	7,500	8,200	5,350	185.8	45~48
中24.03	64,928	4,317	4,935	3,146	109.3	22
中25.03予	67,000	4,500	5,100	3,300	114.6	22~24
会24.09予	126,000	6,800	7,500	4,900		(24.05.09発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 日本ゼオン (4205)

【特色】古河系。合成ゴム大手。タイヤ向けや各種特殊品を展開。合成ラテックス、高機能材料なども

増 額】電池材料は底ばい。が、光学フィルムが五輪需要でテレビ向けの滑り出し好調、スマホ向けも想定超。ゴム製品の採算改善も寄与し営業増益幅拡大。会社計画慎重。為替差益、株売却特益見込まず。増配。

【転 換】28年度にかけ山口県徳山工場のエラストマー生産能力を60%停止。近隣エリアに約700億円投じ高機能材料の新工場建設、28年度竣工。人員再配置など実施。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	382,279	20,500	26,906	31,101	147.2	45
連25.03予	403,000	29,000	30,000	19,000	90.5	47
連26.03予	422,000	32,000	33,000	20,500	97.6	47~49
中23.09	185,442	9,461	13,034	10,359	49.0	20
中24.09予	210,000	15,000	19,000	12,000	57.2	23
会25.03予	397,000	26,500	27,500	17,500		(24.04.25発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 住友理工 (5191)

【特色】自動車用防振ゴム大手。トヨタほか自動車各社へ納入、建機や事務機器向け部品も。住友電工系

【横ばい】柱の自動車用部品は中国低調。国内は一部顧客の減産影響。ただ、メキシコ工場量産化で米州の伸び想定超。欧州赤字縮小。プリンタ向け部品で構造改革効果。価格転嫁も進展で、営業益横ばいに増額。

【水 素】燃料電池トラック向けに水素タンク防振ゴムやホース開発。放熱する吸音材をEV向けに拡販。中高層ビル用制震ダンパーで導入実績拡大、住宅用途にも。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
◇24.03	615,449	33,977	30,805	18,641	179.5	36

◇25.03予	630,000	34,000	30,500	19,000	183.0	38
◇26.03予	645,000	36,000	32,500	20,500	197.4	40~50
中23.09	297,878	12,188	10,595	5,827	56.1	8
中24.09予	309,000	14,500	12,900	7,900	76.1	18
会25.03予	625,000	31,500	28,000	17,700		(24.07.31発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 兼松 (8020)

【特色】老舗商社。電子・IT、食料、鉄鋼・プラント事業の3本柱。資源権益への投資はせず、堅実経営

【上振れ】米国鋼管は高値在庫抱え苦戦も韓国事業減損なくなる。半導体需要回復遅れるが、セキュリティ需要旺盛でICTが牽引。モバイルは法人向け伸長。防衛関連好調。前号より利益増額。会社計画慎重。

【ICT強化】400億円の成長投資資金でM&A積極化しIT人材確保。全社顧客からIT需要掘り起こし。アグリテック企業と協業し高機能バイオ炭を海外拡販。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
◇24.03	985,993	43,870	37,241	23,218	277.9	90
◇25.03予	1,230,000	47,500	43,000	28,000	335.1	100
◇26.03予	1,300,000	50,000	46,000	30,000	359.0	100~120
中23.09	474,129	22,407	20,373	12,339	147.7	45
中24.09予	527,000	24,800	22,300	14,500	173.5	50
会25.03予	1,100,000	42,500	38,000	25,000		(24.05.07発表)

(『四季報』夏号と比較する)

### 【その他の「秋号」サプライズ銘柄】

- [サプライズ① 会社予想を上回る「秋号」強気予想5銘柄](#)
- [サプライズ② 鉄板のインバウンド関連「秋号」強気5銘柄](#)
- [サプライズ③ 人気集中、高配当利回りの「秋号」強気5銘柄](#)
- [サプライズ④ PBR1倍割れの「超割安」秋号独自増額5銘柄](#)
- [サプライズ⑤ 設備需要追い風、独自増額の電力関連5銘柄](#)

■ 予想数値や記事本文は当該記事作成段階のものであり、後発事象などにより9月13日発売の『会社四季報』秋号(2024年4集)と異なる場合があります

■ 本欄の業績予想で使われている1株益は、原則として直近本決算もしくは第1~第3四半期決算時点における発行済み株式数から自己株式数を控除した数で計算しています。季刊『会社四季報』に掲載される値と同じであり、「会社四季報オンライン」に掲載される1株益とは異なる場合があります

■ 当該記事公開時点の各銘柄のリンク先は、『会社四季報』夏号(2024年3集)の掲載内容です

速報! サプライズ銘柄

## サプライズ⑦ 値上げ効果を満喫、独自増額の食品5銘柄

前期の価格改定が浸透

会社四季報オンライン編集部 2024/08/30 17:00



8月24日から配信が始まった「速報! サプライズ銘柄」。本企画は、9月13日発売の『会社四季報』2024年4集(秋号)に掲載されている3900社超の中から、とくに有望な50銘柄を抽出し、5銘柄ずつ毎日17時頃に有料会員向けに配信している。

第7回は、四季報の独自予想が会社計画に対して強気な食品銘柄を取り上げる。昨年度からの厳しい原材料高騰を受けて、食品メーカー各社は値上げに取り組んできた。前期分の値上げ効果が浸透した現在、収益性が改善傾向にある。

小売店は低価格なPB(プライベートブランド)を続々と拡充しており、値上げをするNB(ナショナルブランド)にとってはブランドスイッチが起きる懸念がある。そんな中でも、値上げとともに販売数量を落としていない商品は、固定ファンの多い強いブランドだといえる。

『会社四季報』秋号の材料欄を見てみると、「9月に約3~10%値上げ」など、各社は今後も値上げを続ける方針を掲げており、自社製品への自信がうかがえる。これまで価格転嫁に成功したことを考えると、今秋以降も成長していくシナリオが期待できそうだ。



『会社四季報』2024年4集(秋号)は9月13日発売。書影をクリックするとAmazonのサイトにジャンプします

## ウェルネオシュガー (2117)

【特色】10月に日新製糖と伊藤忠製糖が完全統合、持株会社から1社体制に、製糖2番手。機能素材育成

【増 額】主力の砂糖が数量増え、前期の値上げ効果満喫。機能性素材も快走。粗糖相場軟調で下期から値下げ圧力の懸念あるが、前号から増額。素材開発など先行投資こなし営業益3割増。営業外の配当金消える。

【中 計】今後4年間で戦略的投資に最大420億円を充当し、27年度にROE9%、純益70億円目標。成長のカギ握る機能性素材や食品添加物領域のM&Aを積極化。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
◇24.03	92,192	5,802	7,627	5,524	168.6	102
◇25.03予	95,200	7,600	7,700	5,400	164.6	92~98
◇26.03予	96,000	7,800	7,900	5,550	169.2	101~102
中23.09	44,965	2,678	4,202	3,087	94.3	46
中24.09予	48,300	4,600	4,600	3,250	99.2	46

会25.03予	95,000	7,000	7,100	5,000	(24.05.14発表)
---------	--------	-------	-------	-------	--------------

(『四季報』夏号と比較する)

## 森永製菓 (2201)

【特色】菓子大手。日本初のチョコレート一貫製造開始。菓子、冷菓が主力。健康食品、海外事業を育成中

【上振れ】米国は「ハイチュウ」が新商品中心に数量増。国内はラムネやビスケットなど菓子好調。冷菓も販促効果発現で伸びる。カカオ高騰で下期にかけ原材料高重いが、価格転嫁も進み前号より営業増益幅拡大。

【米 国】需要拡大見据え「ハイチュウ」生産する米国第2工場を設立。投資額は約196億円、27年1月稼働。カカオ高など受け、9月に菓子や冷菓を約3～10%値上げ。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	213,368	20,273	21,039	15,154	165.6	55
連25.03予	222,000	21,600	22,000	16,600	185.1	60
連26.03予	235,000	23,000	23,400	17,700	197.3	60～65
中23.09	109,608	14,167	14,397	10,260	222.6	0
中24.09予	114,000	14,900	15,100	11,400	127.1	0
会25.03予	222,000	20,500	20,900	15,800		(24.05.10発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 名糖産業 (2207)

【特色】チョコやバウムクーヘンなどの菓子が主力。製菓が発祥事業、現在は酵素中心に化成品を拡大中

【増益幅拡大】買収で売上20億円上乘せ。前半の円安追い風、がん薬品原料を軸とする化成品が急伸。主力のチョコ等菓子の値上げ奏功し想定超。前号比で営業益上振れ。株売却益33億円で純益膨張。増配幅拡大。

【値上げ】原料カカオ豆高騰で9月、チョコ商品等価格改定実施。市況次第で追加実施も躊躇せず。鯛焼き型チョコ菓子35周年販促施策実施。応募者に記念グッズ贈呈。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	24,392	232	1,430	-703	-41.6	28
連25.03予	28,000	1,000	2,200	4,140	244.6	33記
連26.03予	29,000	1,300	2,500	1,750	103.4	38
中23.09	11,290	-58	645	468	27.7	13
中24.09予	13,400	400	1,000	3,300	194.9	17
会25.03予	28,000	800	2,000	4,000		(24.07.16発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 六甲バター (2266)

【特色】ベビーチーズで最大手。輸入加工(QBBブランド)が主力。仕入れ、販売面で三菱商事と協力

【独自増額】主力の家庭用は減少も業務用は外食向け伸びる。原料チーズ価格値下がりに加え製品価格改定寄与。営業益大幅増額。下期減益想定のため会社計画慎重。25年12月期は原料チーズ価格下落が寄与。連続増益。

【中 計】27年12月期に売上高620億円、営業利益43億円目指す中計を発表。ナッツ製造委託先のミツヤグループへ49%出資。ナッツ製品のラインナップ拡充図る。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
単23.12	44,296	626	652	446	22.9	25記
単24.12予	45,300	2,200	2,300	1,280	65.7	20
単25.12予	48,000	2,800	2,900	1,600	82.1	20~25
中24.06	21,349	1,123	1,233	903	46.4	0
中25.06予	23,000	1,300	1,400	1,000	51.3	0
会24.12予	45,300	1,800	1,900	1,050		(24.02.09発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 丸大食品 (2288)

【特色】ハム・ソーセージ大手の一角。関西が地盤。食肉は牛・豚中心。子会社通じ飲料・デザートも育成

【増 額】柱の加工食品の採算向上が想定超、ハム・ソーなど主要商品も販売拡大。デザート好調、仕入れ費上昇で苦戦の食肉を埋める。原価高対応の値上げもあり前号比営業増益幅拡大。固定資産売却益。増配。

【値上げ】家庭用商品軸に10月から約200品目で実施、商品統廃合も継続。量販店向けハンバーグ類の関西圏で展開強化。看板商品「燻製屋」は調理方法を提案し拡販。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	228,808	3,117	3,639	-9,414	-377.7	20
連25.03予	235,000	4,400	4,800	4,400	177.0	30
連26.03予	240,000	4,700	5,100	3,400	136.8	30
中23.09	114,118	1,482	1,738	983	39.3	0
中24.09予	117,000	2,400	2,600	3,600	144.8	0
会25.03予	235,000	4,000	4,400	4,000		(24.05.13発表)

(『四季報』夏号と比較する)

### 【その他の「秋号」サプライズ銘柄】

- [サプライズ① 編集部も驚いた「秋号」の強気予想5銘柄](#)
- [サプライズ② 鉄板のインバウンド関連「秋号」強気5銘柄](#)
- [サプライズ③ 人気集中、高配当利回りの「秋号」強気5銘柄](#)
- [サプライズ④ PBR1倍割れの「超割安」秋号独自増額5銘柄](#)
- [サプライズ⑤ 設備需要追い風、独自増額の電力関連5銘柄](#)
- [サプライズ⑥ 4期以上連続増配予想の「秋号」独自増額5選](#)

■ 予想数値や記事本文は当記事作成段階のものであり、後発事象などにより9月13日発売の『会社四季報』秋号(2024年4集)と異なる場合があります

■ 本欄の業績予想で使われている1株益は、原則として直近本決算もしくは第1~第3四半期決算時点における発行済み株式数から自己株式数を控除した数で計算しています。季刊『会社四季報』に掲載される値と同じであり、「会社四季報オンライン」に掲載される1株益とは異なる場合があります

■ 当記事公開時点の各銘柄のリンク先は、『会社四季報』夏号(2024年3集)の掲載内容です

速報! サプライズ銘柄

## サプライズ⑧ 猛暑を味方に伸ばした「秋号」独自増額5銘柄

幅広い業界で「想定超」が発生

会社四季報オンライン編集部 2024/08/31 17:00



8月24日から配信が始まった「速報! サプライズ銘柄」も終盤に差しかかってきた。本企画は、9月13日発売の『会社四季報』2024年4集(秋号)に掲載されている3900社超の中から、とくに有望な50銘柄を抽出し、5銘柄ずつ毎日17時頃に有料会員向けに配信している。

第8回は、夏の暑さで恩恵を受けた銘柄を集めてみた。7月の日本の平均気温が過去最高だった昨年の記録を更新するなど、今年も猛暑が続いている。この厳しい暑さの中で、冷房家電や暑さ対策グッズなどが売上げを伸ばし、予想を上回る成果を上げている銘柄がいくつか見られた。

また、晴天が続いたことでお出かけアイテムも好調だった。足元は台風10号の襲来によって各地で大雨となっているが、台風一過で猛暑が戻ってくるようであれば、さらなる増額も期待できるかもしれない。



『会社四季報』2024年4集(秋号)は9月13日発売。書影をクリックするとAmazonのサイトにジャンプします

## エディオン (2730)

【特色】家電量販上位。中部、西日本が地盤。12年に店舗名を「エディオン」に統一。リフォームにも強い

【上振れ】家電店は純増6(前期同4)。既存店は猛暑でエアコンの販売が想定超。リフォーム好調持続、テレビ上向く。白物家電の販売回復が粗利率改善に寄与。人件費増こなし前号より増益幅拡大。特損減る。

【物 流】岡山県の運送会社を完全子会社化。トラック確保、社内物流の内製化図る。三井住友カードと協業で新たなエディオンカードを発行。新規顧客の開拓を図る。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	721,085	16,929	17,339	9,021	90.1	45
連25.03予	801,000	20,500	21,000	11,800	112.2	45
連26.03予	810,000	21,500	22,000	12,500	118.9	45~46
中23.09	352,577	10,779	11,052	7,216	73.3	22
中24.09予	390,000	12,300	12,600	8,000	76.1	22
会25.03予	750,000	19,000	19,500	11,000		(24.05.10発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## テイカ (4027)

【特色】塗料、UV化粧品向けなど酸化チタン大手。導電性高分子薬剤、医療診断用圧電材料は用途拡大

【独自増額】好採算の化粧品原料が猛暑効果で出荷好調。コンデンサー向け導電性高分子薬剤も顧客在庫一巡、復調。原燃料高の価格転嫁が進捗し、人件費など経費増を吸収。前号より営業益を増額。連続増配か

【生産】コンデンサー向け導電性薬剤に車載用の開発品加わり、26年度現行3倍へ能力増強。他社撤退表明の硫酸法酸化チタンはグラビアインキ向け主体に生産継続。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	52,993	2,325	2,802	1,866	80.6	38
連25.03予	58,000	3,700	4,000	2,650	115.1	38~42
連26.03予	61,000	4,000	4,300	2,850	123.8	40~46
中23.09	27,098	1,402	1,655	1,127	48.6	18
中24.09予	27,700	1,800	2,000	1,500	65.2	18~21
会25.03予	57,500	3,200	3,500	2,300		(24.05.10発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## アース製薬 (4985)

【特色】殺虫剤(虫ケア用品)首位、口腔衛生用品他日用品も。大塚製薬グループ。傘下にバスクリン、白元

【減益幅縮小】日用品滑り出し苦戦。が、好天候追い風に柱の虫ケア販売が想定超。構造改革費用や宣伝費増重いが前号比減益幅縮小。設立100周年記念配。25年12月期は東南アジアで虫ケア伸長続き上向く。

【テコ入れ】在庫圧縮や不採算ブランド整理など通じて収益改善に力。工場再編も検討中。トコジラミ対策の新製品今秋発売など、夏場以外にも需要高い商材の拡販強化。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連23.12	158,344	6,370	6,791	4,102	185.6	118
連24.12予	168,000	4,500	5,100	2,600	119.4	120記
連25.12予	176,000	6,000	6,600	3,400	156.1	118~120
中24.06	97,095	10,758	11,339	7,643	345.5	0
中25.06予	100,000	10,500	11,000	7,500	344.4	0
会24.12予	165,000	3,000	3,560	1,790		(24.02.13発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## ムーンバット (8115)

【特色】洋傘首位。スカーフなど洋品、毛皮、宝飾品、帽子などで百貨店シェア高い。海外委託生産多い

【上振れ】ユニセックスの晴雨兼用傘が専門店でも好調。新商品の認知高まりECも想定超の伸び。ブランド帽子で訪日客の集中購入の反動減、GMS向け低価格帯の採算低下でも、前号比で営業益増額。税平常化。

【E C】SEO対策に加え7月の情報番組での露出受け中期目標売上比率10%が射程に(前期約5%)。単価上昇で販売鈍いカシミヤは百貨店外商と連携強め顧客開拓。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	10,610	434	488	545	119.3	20

連25.03予	11,800	500	550	370	82.1	32
連26.03予	12,300	520	570	390	86.5	32~34
中23.09	5,778	440	475	419	91.7	0
中24.09予	6,800	540	550	420	93.2	15
会25.03予	11,500	450	500	350		(24.05.14発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## ゼビオホールディングス (8281)

【特色】スポーツ用品販売大手。大型店のスーパースポーツゼビオ、ヴィクトリアが柱。ゴルフ専門店も

【上振れ】ゴルフ堅調。部活動など活発化し、競技・一般スポーツ用品の販売伸長。スポーツシューズは広がる普段履き需要も追い風。天候良く春夏衣料の定価消化率が想定超。前期膨らんだ冬物衣料在庫処分減り下期も粗利率改善。前号より増益幅上振れ。

【ゴルフ】体験型の超大型店「PGAツアー」を広島、滋賀に相次ぎ出店。集客力高い業態で競合に対抗。中古品の販売も強化。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	242,433	4,204	5,405	2,592	58.6	30
連25.03予	251,000	7,000	7,250	3,500	80.3	30
連26.03予	260,000	7,400	7,650	3,700	84.9	30
中23.09	120,052	2,968	3,669	2,021	45.7	15
中24.09予	126,000	4,200	4,350	2,500	57.4	15
会25.03予	250,958	6,002	6,284	3,002		(24.05.10発表)

(『四季報』夏号と比較する)

### 【その他の「秋号」サプライズ銘柄】

- [サプライズ① 編集部も驚いた「秋号」の強気予想5銘柄](#)
- [サプライズ② 鉄板のインバウンド関連「秋号」強気5銘柄](#)
- [サプライズ③ 人気集中、高配当利回りの「秋号」強気5銘柄](#)
- [サプライズ④ PBR1倍割れの「超割安」秋号独自増額5銘柄](#)
- [サプライズ⑤ 設備需要追い風、独自増額の電力関連5銘柄](#)
- [サプライズ⑥ 4期以上連続増配予想の「秋号」独自増額5選](#)
- [サプライズ⑦ 値上げ効果を満喫、独自増額の食品5銘柄](#)

■ 予想数値や記事本文は当記事作成段階のものであり、後発事象などにより9月13日発売の『会社四季報』秋号(2024年4集)と異なる場合があります

■ 本欄の業績予想で使われている1株益は、原則として直近本決算もしくは第1~第3四半期決算時点における発行済み株式数から自己株式数を控除した数で計算しています。季刊『会社四季報』に掲載される値と同じであり、「会社四季報オンライン」に掲載される1株益とは異なる場合があります

■ 当記事公開時点の各銘柄のリンク先は、『会社四季報』夏号(2024年3集)の掲載内容です



速報! サプライズ銘柄

## サプライズ⑨ 円高も追い風、「秋号」強気予想の外食5銘柄

最高値をとれそうな銘柄が目白押し

会社四季報オンライン編集部 2024/09/01 17:00



8月24日から配信が始まった「速報! サプライズ銘柄」。9月13日発売の『会社四季報』2024年4集(秋号)に掲載されている3900社超の中から、とくに有望な50銘柄を抽出し、5銘柄ずつ毎日17時頃に有料会員向けに配信する10回シリーズの企画だ。

第9回は、外食関連銘柄を集めてみた。岸田政権の定額減税は「やらないよりはまし」程度のもものだったが、各世帯にプラスになったことだけは間違いない。また、ようやく訪れた円高局面も、原材料費などのコスト減につながるため、業績には追い風だ。

さらに、最近では海外での飛躍が期待できる銘柄も増えている。実際、今回取り上げたのは、順調な業績を評価して、しっかりと高値をとっている銘柄や、再度最高値をとりそうな銘柄も多い。文字どおり「おいしい外食関連銘柄」で実りの秋を実感したいものだ。



『会社四季報』2024年4集(秋号)は9月13日発売。書影をクリックするとAmazonのサイトにジャンプします

## くら寿司 (2695)

【特色】関西・関東軸にロードサイド中心の「くら寿司」直営展開。2位級。米国、台湾で子会社が上場

【上振れ】店舗純増約30(前期同35)。人気アニメ等とのコラボ奏功し客足堅調。高単価商品投入やDX活用した原価低減効果が想定超。下期膨らむ設備改修費こなす。25年10月期はコラボ販促継続で利益続伸。

【改修】新タッチパネルを今期中に国内全店に導入。おすすめ商品表示し、注文点数増につなぐ。6月に一律月3万円のベア実施。初任給も引き上げ人材確保、定着狙う。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連23.10	211,405	2,456	2,882	863	21.7	20
連24.10予	234,000	6,000	6,500	4,200	105.7	20
連25.10予	253,000	8,500	9,000	5,500	138.4	20~22
中24.04	116,071	5,636	5,996	3,948	99.3	0
中25.04予	125,000	5,800	6,100	4,000	100.6	0
会24.10予	234,000	5,500	6,000	3,500		(24.06.10発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## ヨシックスホールディングス (3221)

【特色】名古屋地盤の居酒屋チェーン。すし居酒屋など多業態展開。設計から建築まで自社で手がける

【増 額】出店は25(前期22)想定。主力のすし居酒屋は活況続く。一部店舗の開店時間前倒し効果が想定超。人件費、水道光熱費増をメニュー改定でこなす。前号比で営業益増額。受取補償金特益ない。増配。

【出店戦略】未進出の福島県や福井県にすし居酒屋を出店。500店舗(24年6月末352店舗)の中期目標へ出店加速。海外戦略準備室を6月設置、情報収集を本格化。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	21,117	2,322	2,538	1,809	175.1	26記
連25.03予	22,900	2,700	2,900	1,900	185.9	28~32
連26.03予	25,100	2,900	3,200	2,100	205.4	28~32
中23.09	10,264	1,082	1,220	804	77.8	12
中24.09予	11,200	1,300	1,400	920	90.0	14
会25.03予	22,433	2,386	2,617	1,701		(24.05.10発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 丸千代山岡家 (3399)

【特色】北海道と北関東地盤のラーメンチェーン。幹線道路沿いに展開。手作りスープ等店舗作業多い

【独自増額】店舗純増10想定(前期は同7)。既存店は常連客の来店頻度が想定超。夜も絶好調。クーポン等販促でアイドルタイムも伸びる。食材費高止まりや人件費増は値上げで吸収。前号比で営業益大幅増額。

【出店政策】全国300店舗(4月末185)体制が長期目標。九州や中国地方など西日本の物件調査強化。「週休3日制正社員」制度・転勤なし等売りに人手を確保。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
単24.01	26,494	2,063	2,132	1,432	292.4	10
単25.01予	31,500	3,100	3,250	2,000	204.0	5~7
単26.01予	33,100	3,300	3,450	2,200	224.4	5~7
中23.07	11,617	476	493	312	63.9	0
中24.07予	15,100	1,500	1,530	970	99.0	0
会25.01予	30,000	2,279	2,350	1,572		(24.03.15発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 串カツ田中ホールディングス (3547)

【特色】「串カツ田中」を直営、FCで関東中心に全国展開。家族客多いのが特徴。新業態「鳥玉」等育成中

【増 額】店舗約30増(前期同11)。テレビ露出など効き客数想定超。前期値上げ通期化。拠点集約で物流コスト削減。工場新設費用こなす。営業益上振れ。減損減。25年11月期もSNSでの販促継続で客足伸長。

【天ぷら】京都・祇園に8月オープン。インバウンド需要獲得狙う。観光地などでの拡大も視野。米国は3店目を6月に。既存の店舗でも売上拡大し、米国黒字化へ。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連23.11	14,072	763	833	357	39.0	13

連24.11予	16,800	950	1,020	570	62.0	13~14
連25.11予	20,000	1,400	1,450	850	92.5	13~14
中24.05	8,043	451	492	277	30.2	0
中25.05予	9,000	600	630	360	39.2	0
会24.11予	16,500	870	950	530		(24.01.15発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## シンクロ・フード (3963)

【特色】飲食店向けに求人、不動産、食材仕入れ等の情報サイトを運営。求人掲載料課金や広告が収益源

【増 額】柱の飲食店向け求人広告は、営業人員拡充で直販拡大、大手代理店との契約効果もあり想定超の伸び。育成中のM&A仲介も大型案件成約などで黒字化。人件費、償却費増などこなし、営業増益幅拡大。

【生成AI】飲食店舗物件サイトで、チャットGPT活用して顧客の不動産会社の新規物件登録を効率化する機能追加。SNSショート動画求人サイトは検索機能拡充。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	3,602	1,038	1,036	704	26.4	10記
連25.03予	4,400	1,350	1,350	940	34.9	5~10
連26.03予	4,700	1,500	1,500	1,050	39.0	5~12
中23.09	1,741	471	470	321	12.1	0
中24.09予	2,100	600	600	400	14.9	0
会25.03予	4,200	1,260	1,260	882		(24.05.15発表)

(『四季報』夏号と比較する)

### 【その他の「秋号」サプライズ銘柄】

- [サプライズ① 編集部も驚いた「秋号」の強気予想5銘柄](#)
- [サプライズ② 鉄板のインバウンド関連「秋号」強気5銘柄](#)
- [サプライズ③ 人気集中、高配当利回りの「秋号」強気5銘柄](#)
- [サプライズ④ PBR1倍割れの「超割安」秋号独自増額5銘柄](#)
- [サプライズ⑤ 設備需要追い風、独自増額の電力関連5銘柄](#)
- [サプライズ⑥ 4期以上連続増配予想の「秋号」独自増額5選](#)
- [サプライズ⑦ 値上げ効果を満喫、独自増額の食品5銘柄](#)
- [サプライズ⑧ 猛暑を味方に伸ばした「秋号」独自増額5銘柄](#)

■ 予想数値や記事本文は当記事作成段階のものであり、後発事象などにより9月13日発売の『会社四季報』秋号(2024年4集)と異なる場合があります

■ 本欄の業績予想で使われている1株益は、原則として直近本決算もしくは第1~第3四半期決算時点における発行済み株式数から自己株式数を控除した数で計算しています。季刊『会社四季報』に掲載される値と同じであり、「会社四季報オンライン」に掲載される1株益とは異なる場合があります

■ 当記事公開時点の各銘柄のリンク先は、『会社四季報』夏号(2024年3集)の掲載内容です

速報!サプライズ銘柄

## サプライズ⑩ 残り物には福、まだある「秋号」独自増額5選

今期はもちろん来期も増益予想

会社四季報オンライン編集部 2024/09/02 17:00



8月24日から配信がスタートした『会社四季報』2024年4集(秋号)の「速報! サプライズ銘柄」も、今回が最終回となる。第10回は恒例の「残り物には福」をテーマに5銘柄を選んでみた。

今回取り上げた5銘柄は、過去9回の「サプライズ銘柄」では惜しくも選から漏れたものの、各回のテーマで次点として候補に挙がっていた銘柄だ。いずれも今期はもちろん、来期も増益が見込まれる有望銘柄となっている。

「速報! サプライズ銘柄」は今回でラストだが、「四季報先取り」はまだまだ続く。9月3~7日の5日間は先取り第2弾となる「東洋経済グロス100」を配信する。この100銘柄は東洋経済が選んだ期待の成長株で、3カ月ごとに入れ替えをしている。四季報発売前に毎日20銘柄(うち10銘柄はプレミアム会員限定)ずつ、5日間にわたって先行配信する。

さらに8~12日は第3弾として、日経平均株価を構成する225銘柄を中心とした「主力株300」を配信予定(60銘柄×5日間)。『会社四季報』2024年秋号の発売は9月13日。直前まで引き続き注目していただきたい。



『会社四季報』2024年4集(秋号)は9月13日発売。書影をクリックするとAmazonのサイトにジャンプします

## サンマルクホールディングス (3395)

【特色】「サンマルクカフェ」や中価格帯レストランが柱。フルサービス型「倉式珈琲店」育成中。好財務

【独自増額】店舗は純増5(前期は純減51)想定。食事業態はドリアなど活況続く。喫茶は客足回復が想定超、高単価メニューも拡販。不採算店整理効果も寄与。人件費増こなす。営業益独自増額。上期に税効果。

【改 装】既存店の収益力向上へ、28年度までに約50億円投じ改装推進。不振の倉式珈琲はフードやスイーツメニュー強化で立て直しへ。当社食事業態とのシナジー追求。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	64,556	2,620	2,753	969	47.5	50
連25.03予	66,200	3,300	3,300	2,200	107.6	52
連26.03予	67,500	3,800	3,800	2,400	117.4	52~54
中23.09	31,497	948	1,068	518	25.4	25
中24.09予	32,100	1,400	1,400	1,350	66.0	26
会25.03予	64,000	3,000	3,000	2,100		(24.05.13発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## 日本化学工業 (4092)

【特色】1893年創業の工業薬品企業。無機化学は首位級、セラミック材料強化。電池正極材も継続

【上振れ】需要前倒し、棚卸評価損減少で出足活況。電子セラミックが車載向け続伸。液晶・半導体向け材料回復。化学品はメッキ用伸長。価格改定浸透。下期に前倒し反動減、人件費や償却費増でも営業益増額。

【現地法人】6月海外拠点の強化狙い台湾に現地法人設立。現地のニーズ対応力向上。ホスフィン誘導体は有機合成用触媒原料を製品化・販売好調、量子ドット向け伸長。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	38,538	2,264	2,383	1,590	180.3	70
連25.03予	41,000	3,500	3,500	2,400	271.6	70~78
連26.03予	42,000	3,600	3,600	2,470	279.5	75~80
中23.09	18,672	803	909	611	69.3	35
中24.09予	21,000	2,400	2,400	1,600	181.1	35
会25.03予	40,000	2,900	2,900	2,000		(24.05.14発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## デンヨー (6517)

【特色】可搬形エンジン発電機・溶接機でトップ。震災を機に非常用電源の用途拡大。米、アジアで生産

【増 額】発電機は好採算の中小型機軸に定置形堅調。可搬形は再開発やインフラ関連などで国内やアジアしっかり。米国レンタル向けの顧客在庫調整想定より長引くが、前半の円安恩恵。下期佐賀工場の償却開始も価格改定効く。前期並みに営業益増額。

【着 手】来年度発売目指し量産型の燃料電池式可搬形発電機の開発着手。佐賀工場は25年初稼働、定置形の生産能力3割増へ。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	73,140	7,089	7,378	5,095	246.8	64
連25.03予	73,500	7,100	7,400	4,970	240.7	70~90
連26.03予	76,500	7,300	7,600	5,080	246.0	70~95
中23.09	34,201	2,167	2,305	1,598	77.5	24
中24.09予	34,000	3,100	3,200	2,150	104.1	30
会25.03予	74,000	6,700	7,000	4,700		(24.05.09発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## HANATOUR JAPAN (6561)

【特色】インバウンド専門の旅行会社。韓国親会社や中国など団体客向け手配業務が柱。バス、ホテルも

【独自増額】柱の訪日旅行はアジア個人客が想定超える好調。韓国団体客伸びる。ホテル客室単価、稼働率とも順調。人件費抑制も寄与し前号より営業益独自増額。復配。25年12月期は訪日旅行が牽引し、連続増益。

【積極展開】旅行プラットフォームは来年春以降にローンチ。営業強化へ欧州で新拠点検討。バス輸送効率化に向けて社内システム開発。ホテルは年1店開業目指す。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連23.12	5,154	819	766	1,221	97.3	0
連24.12予	6,600	1,550	1,450	1,440	114.7	30

連25.12予	7,500	1,700	1,600	1,550	123.5	30
中24.06	3,287	854	832	750	59.8	0
中25.06予	3,720	880	830	800	63.7	0
会24.12予	6,500	1,300	1,150	1,140		(24.02.14発表)

(『四季報』夏号と比較する)

## トレックス・セミコンダクター (6616)

【特色】電源ICのファブレスメーカー。車載や産機向けに強み。傘下にパワー半導体受託製造会社

【増 額】電源ICは中国でPCや家電向け底打ち、産機用途の低迷補い下期にかけて回復。受託も中国顧客の在庫調整一巡し上向く。棚卸評価損なく黒字化、期初の評価損戻入上乗せで前号比増額。減損ない。

【対応策】半導体の国産化進める中国ではコンバーターなど代替製品少ない独自品拡販。拠点集約の岡山工場では交代勤務制度変更し稼働率改善、固定費削減を推進。

【業績】	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配当(円)
連24.03	25,751	-1,778	-2,452	-4,297	-390.7	56
連25.03予	28,000	1,200	1,200	800	72.7	56
連26.03予	30,000	2,000	2,000	1,400	127.3	56
中23.09	13,252	89	-266	-199	-18.1	28
中24.09予	12,500	400	400	200	18.2	28
会25.03予	28,000	1,000	1,000	700		(24.05.14発表)

(『四季報』夏号と比較する)

### 【その他の「秋号」サプライズ銘柄】

- [サプライズ① 編集部も驚いた「秋号」の強気予想5銘柄](#)
- [サプライズ② 鉄板のインバウンド関連「秋号」強気5銘柄](#)
- [サプライズ③ 人気集中、高配当利回りの「秋号」強気5銘柄](#)
- [サプライズ④ PBR1倍割れの「超割安」秋号独自増額5銘柄](#)
- [サプライズ⑤ 設備需要追い風、独自増額の電力関連5銘柄](#)
- [サプライズ⑥ 4期以上連続増配予想の「秋号」独自増額5選](#)
- [サプライズ⑦ 値上げ効果を満喫、独自増額の食品5銘柄](#)
- [サプライズ⑧ 猛暑を味方に伸ばした「秋号」独自増額5銘柄](#)
- [サプライズ⑨ 円高も追い風、「秋号」強気予想の外食5銘柄](#)

■ 予想数値や記事本文は当記事作成段階のものであり、後発事象などにより9月13日発売の『会社四季報』秋号(2024年4集)と異なる場合があります

■ 本欄の業績予想で使われている1株益は、原則として直近本決算もしくは第1～第3四半期決算時点における発行済み株式数から自己株式数を控除した数で計算しています。季刊『会社四季報』に掲載される値と同じであり、「会社四季報オンライン」に掲載される1株益とは異なる場合があります

■ 当記事公開時点の各銘柄のリンク先は、『会社四季報』夏号(2024年3集)の掲載内容です